

中区の防災計画



中公民館



〒816-0905 大野城市川久保1丁目7番1号

Tel・Fax 092 (504) 0258

目 次

1 .	中区の防災計画はなぜ必要なの？……………	1
2 .	中区の防災計画はどのように活用するの？……………	2
3 .	中区ってどんなまち？……………	3
4 .	防災まち歩きで出てきた意見……………	4
5 .	中公民館防災組織図……………	5
6 .	中公民館のタイムライン ……………	6
	1) マイタイムラインによる防災計画……………	7
	2) 対策本部班の活動内容……………	8
	3) 救護班の活動……………	9
	4) 情報班の活動……………	10
7 .	地震発生時のタイムライン……………	11
8 .	リスクマップ	
	1) 1・2班……………	12
	2) 3・4班……………	13
	3) 1・5・6班……………	14
	4) 7・8班……………	15
9 .	我が家のマイタイムライン……………	16
10 .	中公民館周辺の指定避難所……………	17
11 .	わが家の防災メモ……………	18

1. 中区の防災計画はなぜ必要なの？

この防災計画はなぜ必要なのでしょう？

近年、異常気象による大洪水や大規模な土砂流出等、想定を超える災害が発生しています。このことから大野城市でも、異常気象の多発を踏まえ、国の災害対策基本法に基づき『大野城市地域防災計画』を策定しています。この中で、中区に住んでいる人や事業者などが、中区の防災活動の推進計画（地域防災計画）を策定することが位置付けられています。そのため、自分で自分の命を守り、地域を守ることが出来る【地域防災計画】を作り、必要に応じて更新することが喫緊の課題となっています。



2. 中区の防災計画はどのように活用するの？

みんなの防災計画は、東地区コミュニティ運営協議会で行っている

『まちづくり計画』の防災対策の一環で取り組んできたものです。

中区では、安全な経路で避難できる「マイリスクマップ」（各班別）をみんなで作りました。この地図を見て、自分の家を確認し矢印に沿って避難所までルートを確認して下さい。

また自分の状況に合わせて、いつ避難をするかを決めておく「マイタイムライン」（資料①）も作成したので、活用してください。

さらに中区では「中公民館のタイムライン」（資料②）を作成し、防災計画に対応するための「中区防災組織図」を作成しました。

これは、公民館の役員・班長・組長等の役割を気象庁が発表する防災警戒レベルに合わせて作成しています。今回みんなで作った『中公民館の防災計画』を使って、自分のことは自分で守る【自助】、隣近所をみんなで守る【共助】を実践できるようにしましょう。

なお、令和6年度以降の計画では災害要援護者の救援及び避難所の運営について検討を進めて参ります。

3. 中区ってどんなまち？

中区は、東コミュニティの北側に位置し、東コミの中では2番目に人口が多い区です。令和6年3月末時点で、総人口3,592人(外国人含む)に対して、65歳以上の人口は814人と高齢者が多い町となっています。

(高齢化率22.7%)

中区では、県道(現市道)飯塚大野城線(山田宇美線)を挟み、北は丘陵地が多い中地区(大字中、中1丁目～3丁目)、南は平地の川久保地区(川久保1丁目、川久保2丁目の一部、川久保3丁目の一部)に分断され、西域には御笠川沿いに御笠川1丁目の一部、御笠川4丁目が存在しています(中区面積153ha)。

過去の主な災害履歴では中排水池付近の土砂流出や川久保川の天神橋付近での河川増水などが起こっています。

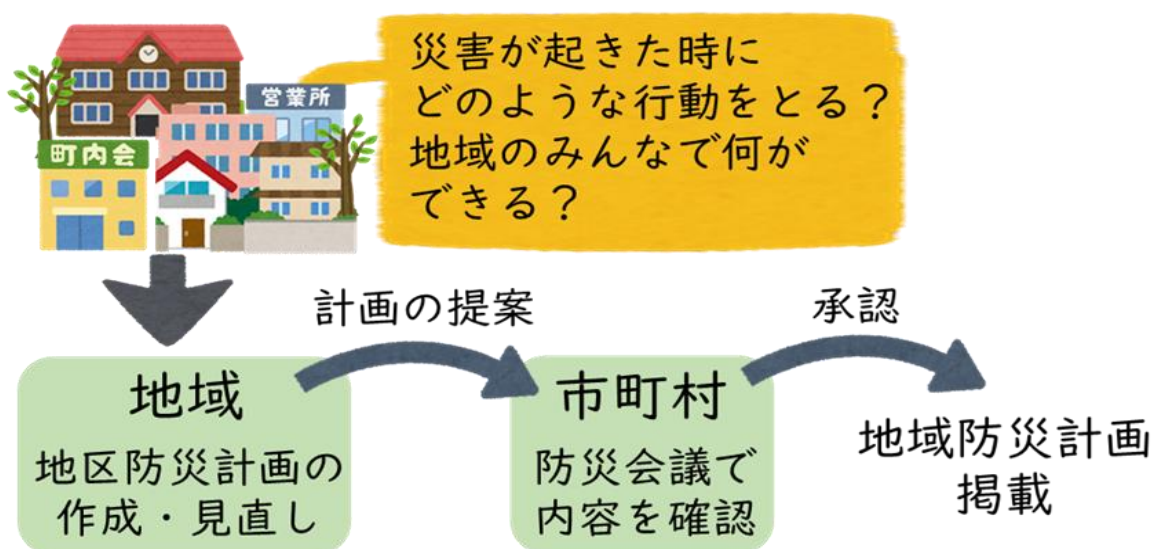
参考までに「中」の地名は中宝満神社及び近隣の乙金・山田・井相田・各村の氏神様宝満神社全て御陵の宝満神社から分霊したものであり御陵宝満神社は本宮で、その所在地が中心と考えられ「中」と呼ばれたとの説があります。

4. 防災まち歩きを実施して出てきた意見

- 住宅地より山に向かって強い風が吹くこと。
- 防災無線・放送が聞き取りにくいこと。
- 山地からの水の流れ、低地の家の浸水が怖いこと。
- ブロック塀に亀裂が見られるところがあった。
- ペット可の避難所が必要である等の課題があげられた。

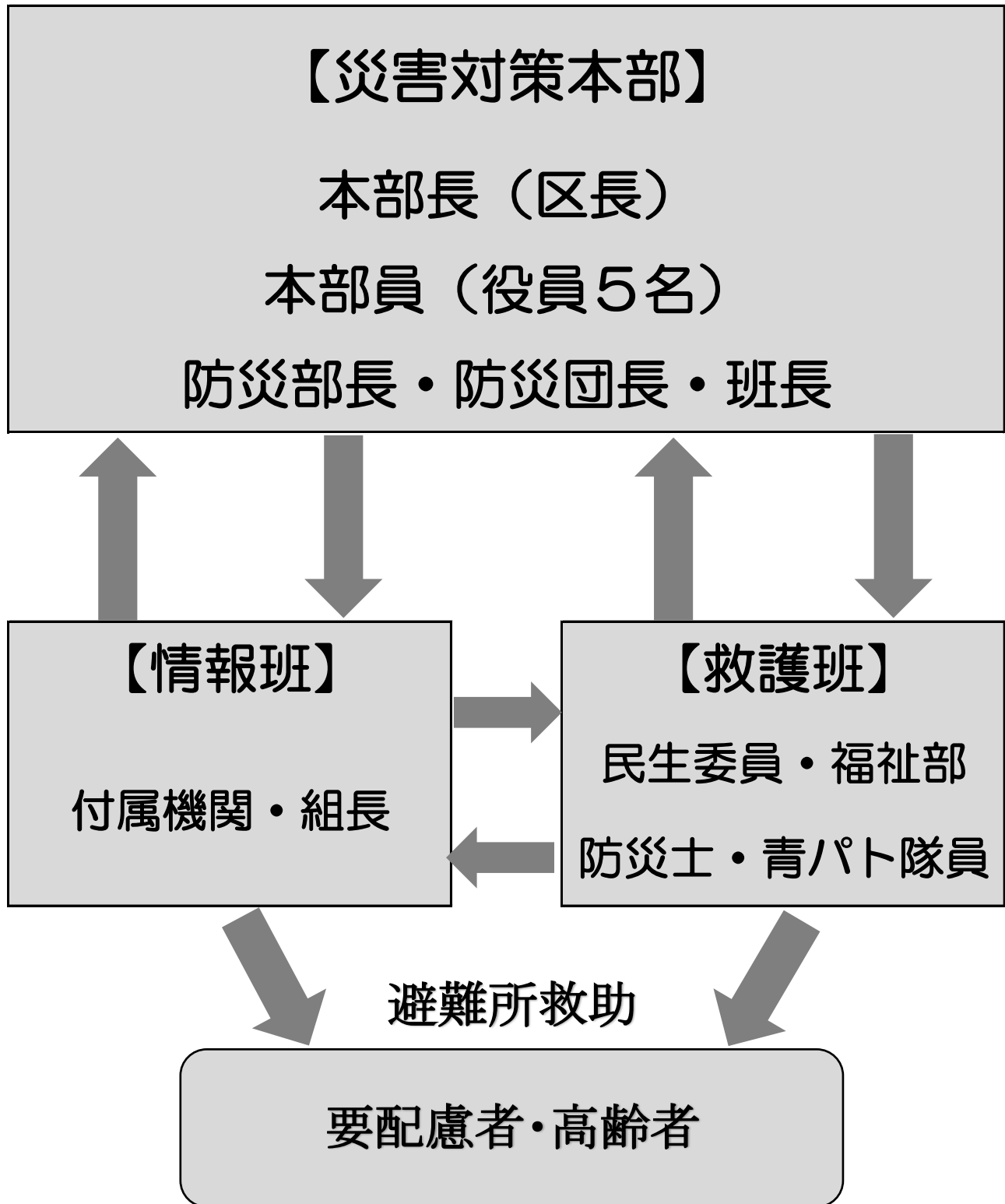
※ その他

- 災害時の緊急連絡方法として、ラインなどのSNSの活用を検討中です。
- 公民館「防災対策本部(正副区長、以下役員等)」は応急・救出班及び情報班を通して迅速に連絡を要するためスマートフォンの『ライングループ』への登録をお願いしています。



中区公民館防災組織図

令和6年4月1日付 中区



※ 防災士の役割については、令和7年度に改めて検討する。

の

中区タイムライン（資料②）

行政区のタイムラインは地域の課題を，**共助**（地域内の皆さんで互いに助け合うこと）で解決するための行動が書かれています。
具体的には，「いつ」「だれが」「どのような対応をするか」が記載されています。地域の状況に合わせ，定期的な見直しを行っていきましょう。

警戒レベル	気象庁等の情報	行動の基準	地区の課題	地区の行動	行動主体
平時の備え	・防災備蓄品の確認 ・避難経路の確認 ・災害要援護者の確認 ・各班及び組長等の連絡体制確立（ラインなど） ・防災訓練の実施	・防災備蓄品の確認		・区が担当する公園の草刈りをする	役員・ボランティア
		・避難経路の確認		・区の公式ラインを作成	対策本部・情報班・救護班
		・災害要援護者の確認		・役割分担の確認	対策本部・情報班・救護班
		・防災備蓄品の確認		・食料備蓄の消費期限を確認する	対策本部
		・各班及び組長等の連絡体制（ラインなどの確認）		・防災訓練に参加してタオルをもらう	地区全体
		・防災訓練の実施		・防災用具を確認する	対策本部
			中1， 3 丁目の道が狭い	・発電機の動作確認を行う	対策本部
1 早期注意情報 心構えを高める		・避難所開設の準備		・公民館の防災用具を確認する	対策本部
		・防災備蓄品の準備		・タイムラインの確認を住民に呼びかける	情報班 班長・組長
		・避難所開設の準備		・民生委員、福祉部は要配慮者の予定を確認する	民生児童委員・福祉部員
			川久保川の一方通行は道路の補修が必要		
			中2丁目， 御陵中学への通学路は道が狭い		
2 避難行動の確認	大雨注意報			・市の指示に従い、役員は公民館に待機する	対策本部
				・自主避難先に避難を開始する	対策本部・救護班・高齢者
				・公民館の防災用具を再確認する	対策本部
			川久保川1丁目の天神橋は過去に浸水したことがある	・天神橋の水位を確認し、避難準備を呼びかける	対策本部・水利組合
				・役員間の連絡を再確認する	対策本部・情報班・救護班
				・福祉部は要配慮者の再確認をする	福祉部
				・防災の個人マニュアルの確認や避難を呼びかける	対策本部・市
				・民生委員は要配慮者への避難準備を呼びかける	民生児童委員
				・避難に時間を要する要配慮者は避難を開始する	救護班
			3 大雨警報 洪水警報 高齢者等避難 避難に時間を要する人は 避難を開始する		
	・公民館、集会所に避難した人数の確認を行う	対策本部・情報班・救護班			
中2丁目6 班道は，雨上がり裏山からの地下水が吹き出す	・状況を見て、雨が止んでいても避難する	地区全体			
	・民生委員は逃げタオルを活用し，要配慮者が避難したか確認する	民生児童委員・救護班			
	・早めに避難行動をとる	地区全体			
地区放送が聞こえない					
4 土砂災害警戒情報				・避難所に避難を完了する	地区全体
警戒レベル4 までに必ず避難を完了する					
5 大雨特別警報	直ちに命を守る行動をとる				

マイタイムライン		マイタイムラインによる防災計画	
		令和6年4月	
記号	時間割	地域の課題	中区民：皆さんの行動
平時の備え	- 防災訓練 - 防災広報 - 防災祭事	①防災訓練への参加者減少 ②隣近所の交流が減少 ③過去の大雨で川久保川天神橋付近で増水 ④大字中の配水池付近の土砂崩れ	- 新しい「災害リスクマップ、避難タイムライン」 - 中区の「防災計画書」の習得 - 災害に備えた必需品、3日～7日間の食糧と最小限の金品は常に準備 - 自宅の安全準備は日頃から整える
レベル1	- 災害情報 - 予備知識 - 事前予告	①ブロック塀が高い所・クラック(亀裂)が激しい所は注意 ②側溝に蓋がない所は注意 ③公民館のキャパに問題がある	- 災害情報は常にテレビ・ラジオ等自分で確認、避難行動を家族で確認 - 台風、洪水、崖崩れなど安心は命取り、災害の状況を報道等により確認
レベル2	大雨注意ニュース	①大雨注意報発令時の確認	- 災害情報で被害状況がはっきりしたら、自分・家族の安全対策を確認する - 高齢者、要配慮者の家庭は、災害内容では早めの準備、救護・支援班担当に相談する - 災害状況を確認し、危険を感じたら避難準備
レベル3	大雨警報発令時	①大雨時に避難のタイミングが分からない	- 高齢者や要配慮者家族は避難開始 - 災害状況は公民館、市役所等確認し避難のタイミングについては、早めが大切です - 市役所や公民館本部より指示が来たら、迷わず避難です、自宅2階等も検討する - 夜間の避難は？
レベル4	避難指示	①必ず避難か、少し待つか被害状況の判断難しい	高齢者・要配慮者以外の方も避難する。
レベル5	災害発生		災害発生で避難できない人は、2階など安全な場所へ避難する
避難所	- 中集会所 - 中公民館 - 東コミ - 北コミ - 東小学校 - 御笠の森小学校 - 御陵中学校	①避難所運営は「次期防災計画」にて協議作成する	- 避難所以外に避難者は、公民館本部、または避難所(小学校等)受付へ連絡 - 車で避難者は、安全確認の上公民館本部または避難所受付へ連絡 - 食事や水などの配給要望の連絡について災害本部へ早めの連絡

中公民館のタイムライン

対策本部班の活動内容

警戒レベル	気象庁の情報	役 職 別 の 活 動 内 容		
		対策本部員（区長・役員5名・ 防災部長・防災団長・班長）	班長（8名）	
平 時 の 備 え		避難訓練と防災組織の役割指導	担当組長との情報交換	
		定期的な避難路の確認	避難経路の確認	
		区の公式ラインを活用した活動	中区からのライン等の確認	
		公民館の防災グッズの点検・確認	各組の防災グッズ準備の促進	
		避難要配慮者の情報収集		
1	早期注意情報	各班長への注意情報の伝達	各班長への注意情報の伝達	
		区全体のリスクマップとタイムライン確認	班・組のリスクマップとタイムライン確認	
2	大雨注意報 洪水注意報	避難意思確認の収集を行う	組長から避難意思確認情報を本部へ連絡	
		避難所開設を行うかどうかの検討	避難準備をする	
		班長と共に避難所の人員等確認	避難所開設の確認	
		避難者用資器材の確保	避難者数の確認	
			避難者資器材の設置及び指導	
3	大雨警報 洪水警報 高齢者等避難	指定避難場所に避難開始を指示する	避難所開設の準備 公民館へ移動	
		大雨・洪水警報の発表にあわせて避難させる	大雨・洪水警報が出れば避難を誘導する	
		避難者の人員確認	班・組の避難者の人員確認	
4	土砂災害警戒情報 避難指示	指定避難所への避難完了を確認する	班長が所属の組長に避難を確認する	
		班長からの住民安否の確認	組長より組員避難者の安否の確認	
5	大雨特別情報・緊急安全確保	区民の命の安全を見守る行動をとる	班ごとの組員の安全をか確保する	

中公民館のタイムライン

【救護班の活動】

警戒レベル	気象庁の情報	役 職 別 の 活 動 内 容		
		民生委員・福祉部(10名)	青パト隊員 (25名)	防災部長・防災団長・防災士 (5名)
平 時 の 備 え		避難訓練と防災組織の役割指導	担当組長との情報交換	区の要配慮者情報収集
		定期的な避難路の確認	避難経路の確認	避難経路の確認 (リスクマップ)
		区の公式ラインを活用した活動	班の支援が必要な世帯の確認	
		公民館の防災グッズの点検・確認		
		避難要配慮者の情報収集		
1	早期注意情報	青パト隊員へ早期伝達	民生委員・福祉部員へ早期伝達	区内要配慮者への早期注意情報の伝達
		区全体のリスクマップとタイムライン確認	班のリスクマップとタイムライン確認	区のリストマップとタイムライン確認
2	大雨注意報 洪水注意報	避難意思確認の収集を行い本部へ伝達	民生委員・福祉部員からの避難情報を集約	
		要配慮者の避難意思の確認	避難所開設の確認	
		避難希望者へ準備を促す	避難希望者数の確認	
		避難所の開設を要配慮者に連絡する		
		対策本部員と共に避難者の人員等確認		
3	大雨警報 洪水警報 高齢者等避難	指定避難場所に移動する	指定避難場所に移動する	要配慮者の指定避難場所に避難を誘導する
		要配慮避難者の確認	要配慮避難者の人員確認	
4	土砂災害警戒情報 避難指示	避難所への避難完了を確認する		避難所への避難を完了する
		避難所受け入れ体制の確立		
5	大雨特別情報・緊急安全確保	命の安全を見守る行動をとる	命の安全を確保する	命の安全を確保する

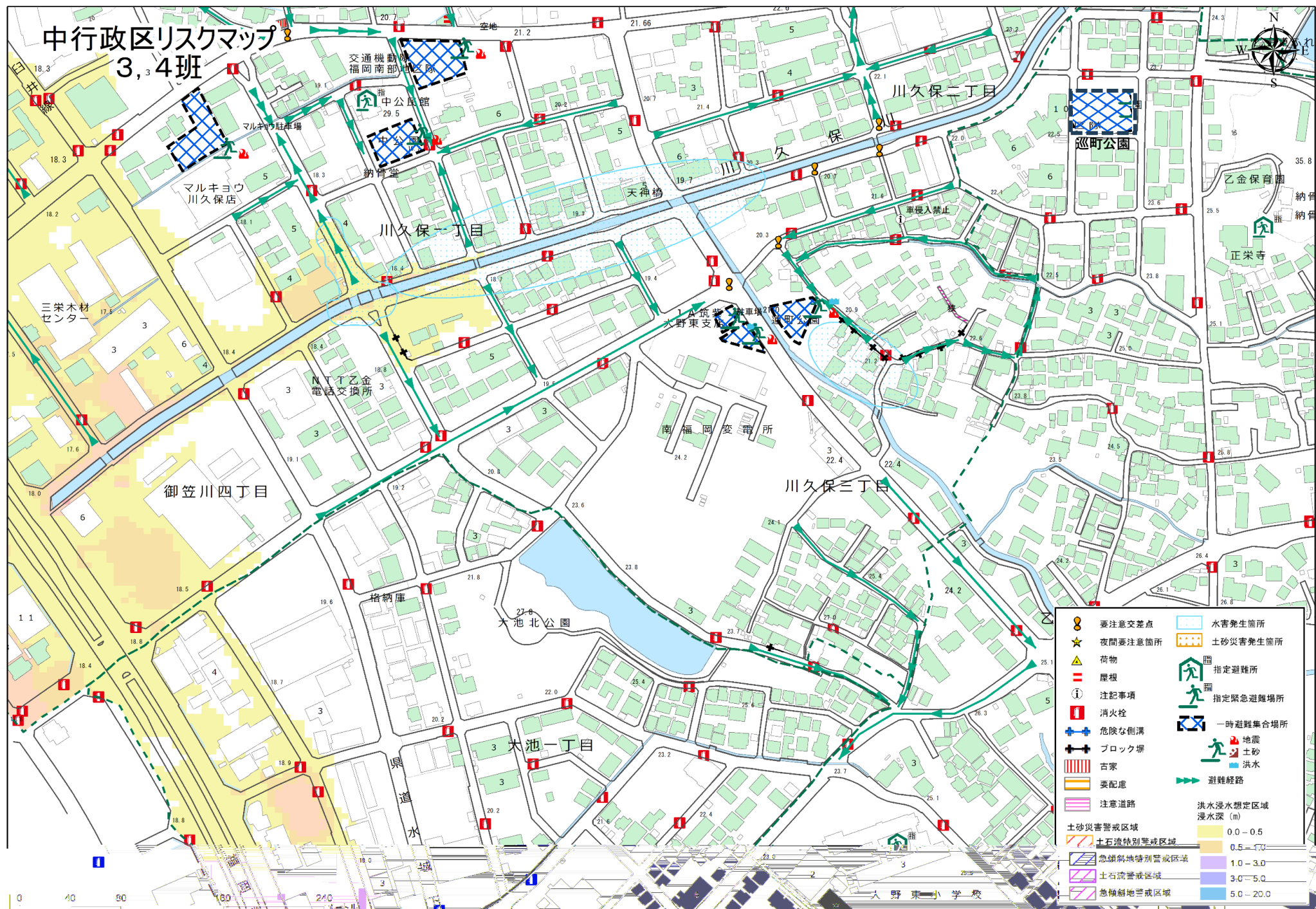
中公民館のタイムライン

【情報班の活動】

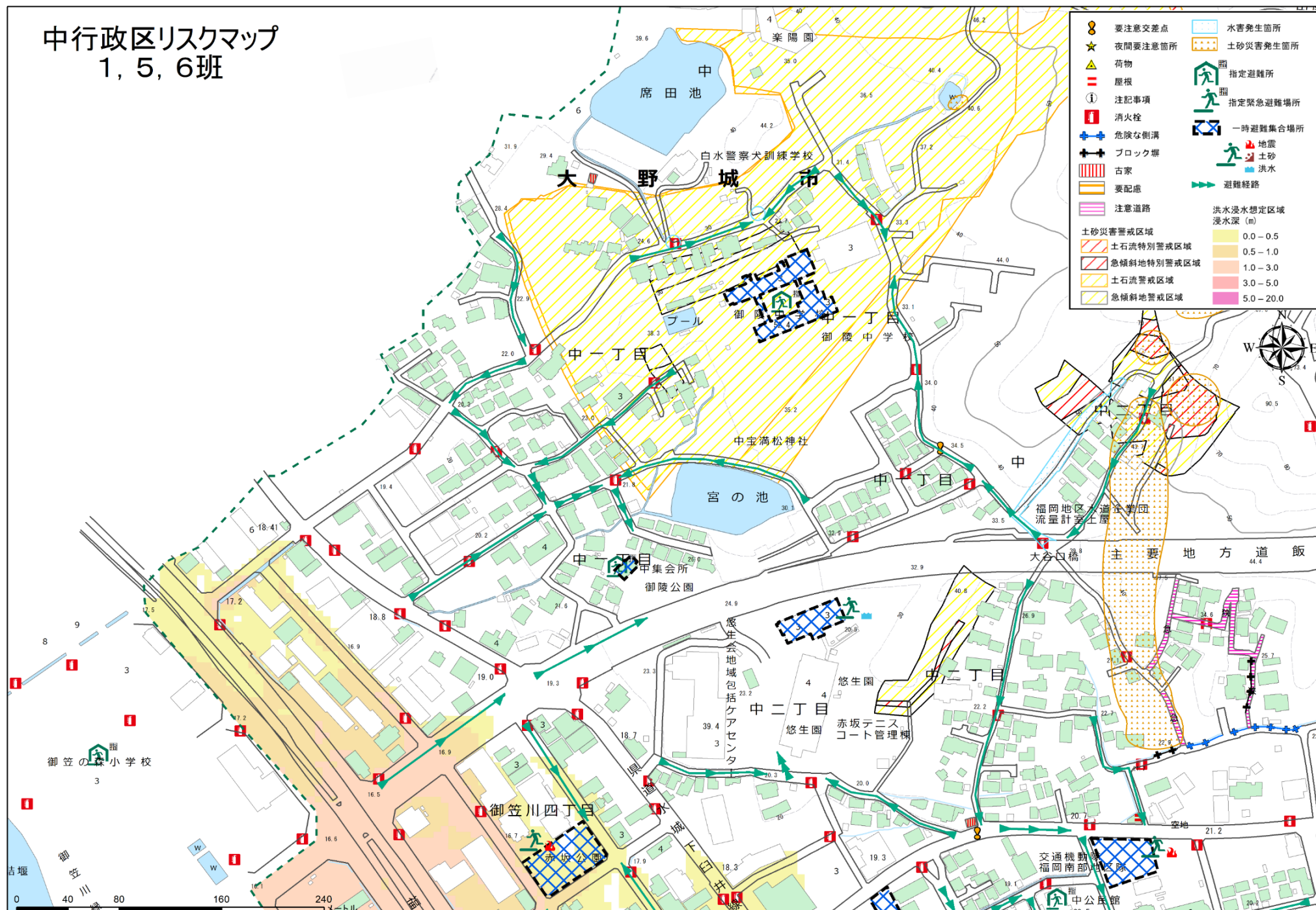
警戒レベル	気象庁の情報	役 職 別 の 活 動 内 容		
		組長（41名）	付属機関正副部長（防災関係を除く）（14名）	
平 時 の 備 え		組長さん：本部、救護班、付属機関との意見交換	隣組長と日頃のコミュニケーションをとる	
		近隣組長同士との一時避難、避難経路確認	隣組長は一年交代のため各専門部長は状況を知る	
		各家庭用防災グッズ等用意の促進		
		組内での支援が必要な世帯の確認		
1	早期注意情報	中区本部からのラインなど連絡確認	本部とのライン連携が取れるよう確認	
		リスクマップ、タイムラインの準備、確認	近隣組長との連携ができるよう顔見知りになる	
		組内各世帯の避難名簿集計表準備（注）	専門部正副部長の役割責任者を決める	
		避難者数の確認		
2	大雨注意報 洪水注意報	避難場所確認	一時避難場所の会場下見	
		避難場所の状況を本部へ連絡	避難者資機材の設置及び準備	
		状況を見て避難者に伝達	避難所設置については本部と連絡調整	
			安否確認と避難者人数確認	
3	大雨警報 洪水警報 高齢者等避難	災害状況を見て組員に声かけながら避難	避難所対応と公民館避難、学校避難の調整	
		指定避難所に避難を開始する	災害本部との調整、組長、救護班への連携	
		組内の避難者の人数確認、救護班へ報告	組長の応援、避難時の会場作り、避難所決定	
			などの避難所責任者	
4	土砂災害警戒情報 避難指示	組内の高齢者など避難所に避難完了する	組長への応援、特に高齢者避難等手助け	
		自宅避難（2階等）する人の安全確認	自宅避難か公民館、コミセン、学校からの指示手助け	
		組内の避難状況、安否確認、救護班へ報告	被害状況、避難者及び安否確認など救護班へ	
5	大雨特別情報・緊急安全確保	組長さん含め、命の安全を確保する	専門部含め命の安全を確保する	

地震発生時のタイムライン

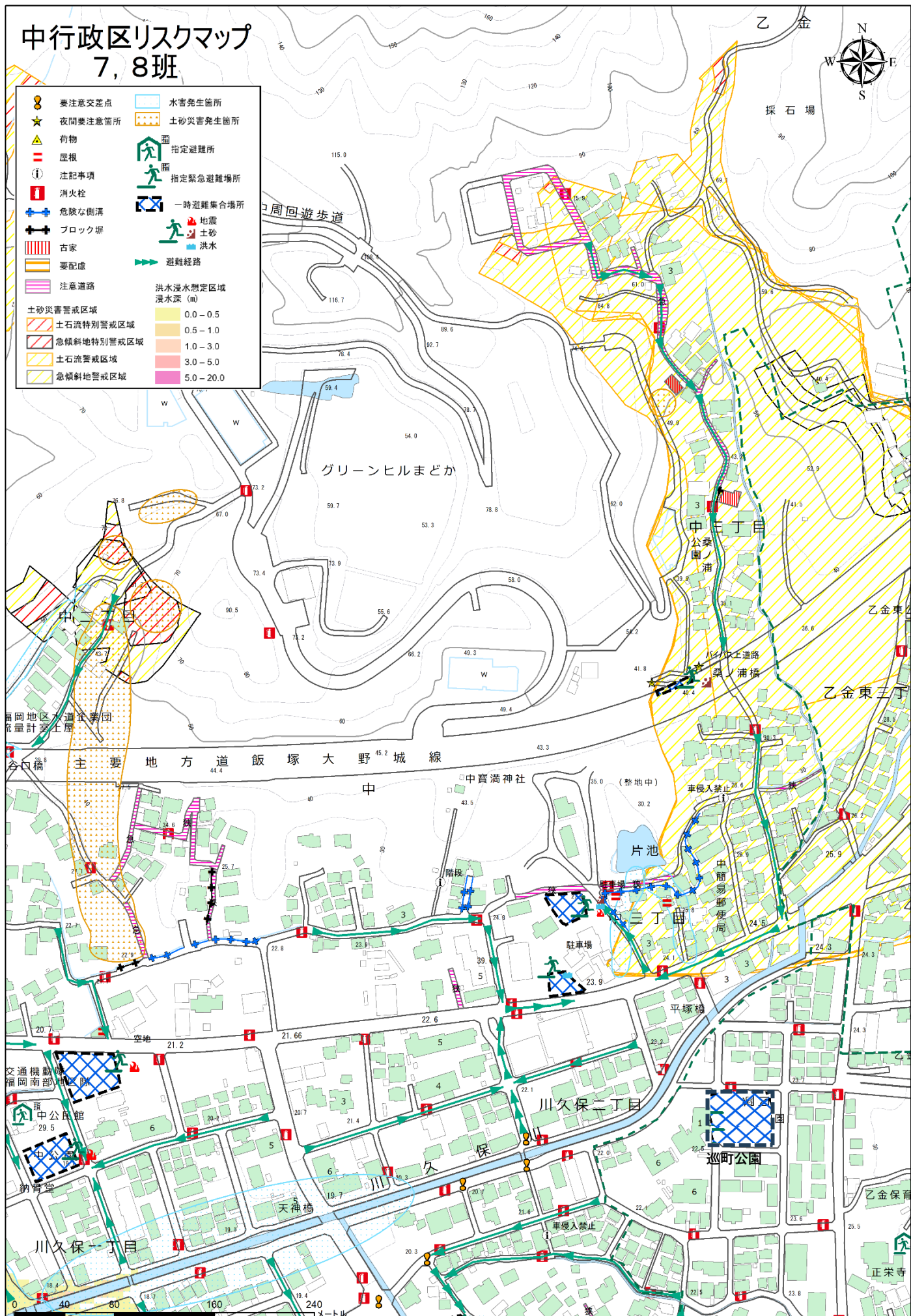
時間軸	行動基準	行動の内容
平常時	日頃から⑩の備え	・家具類の転倒防止対策をしよう
		・けが防止の対策をしておこう(スリッパ・懐中電灯)
		・家屋や塀の強度を確認しておこう
		・消化の備えをしておこう
		・火災発生早期と防止対策をしておこう
		・非常用品を備えておこう(非常持ち出し・備蓄品)
		・家族で避難先、連絡など話し合っておこう
		・地域の危険個所を把握しておこう
		・防災知識を身につけておこう
		・災害行動をたかめておこう
地震発生	まずは自分の身を守る	・机の下に入る ・家具やガラス面から離れる ・クッションや雑誌などで頭を保護する
	緊急地震速報	地震発生→地震計→気象庁→皆さん→ テレビ・ラジオ 携帯電話・防災無線
	こんなときは	・人が大勢いる施設では むやみに移動せず、係員の指示に従い落ち着いた行動
		・山やがけ付近では 落石やがけ崩れに注意
		・路上にいた 瓦など落下物から身をまもり、公園など安全な場所に避難
		・車を運転していた スピードを落とし、左側によりエンジンを止め収まるのを待つ
		・エレベータの中にいた すべての階段を押し、止まった階で降りる
		・脱出口を確保・電気のブレーカーを落とす
		・家族の安全を確保・ガスの元栓をしめる・靴を履く
		・近所に声をかける・近所で火が出ていたら初期消火
	揺れがおさまったら 近所の安全確認	・余震に注意・非常持ち出し品を用意する
発生から10分～	ラジオなどの情報入手	・正しい情報入手・緊急連絡先を優先（回線が混雑する） ・家屋倒壊などの危険があれば避難 ⇒避難場所に避難 震度予想図をチェック
	協力して消火 救出救護活動	・助け合いの心が大切
		・水、食料は備えているもので
		・壊れた家には入らない ・災害情報、被害情報の収集を行いデマ情報に惑わされない



中行政区リスクマップ 1, 5, 6班



中行政区リスクマップ 7, 8班



9. 我が家のマイタイムライン（資料①）

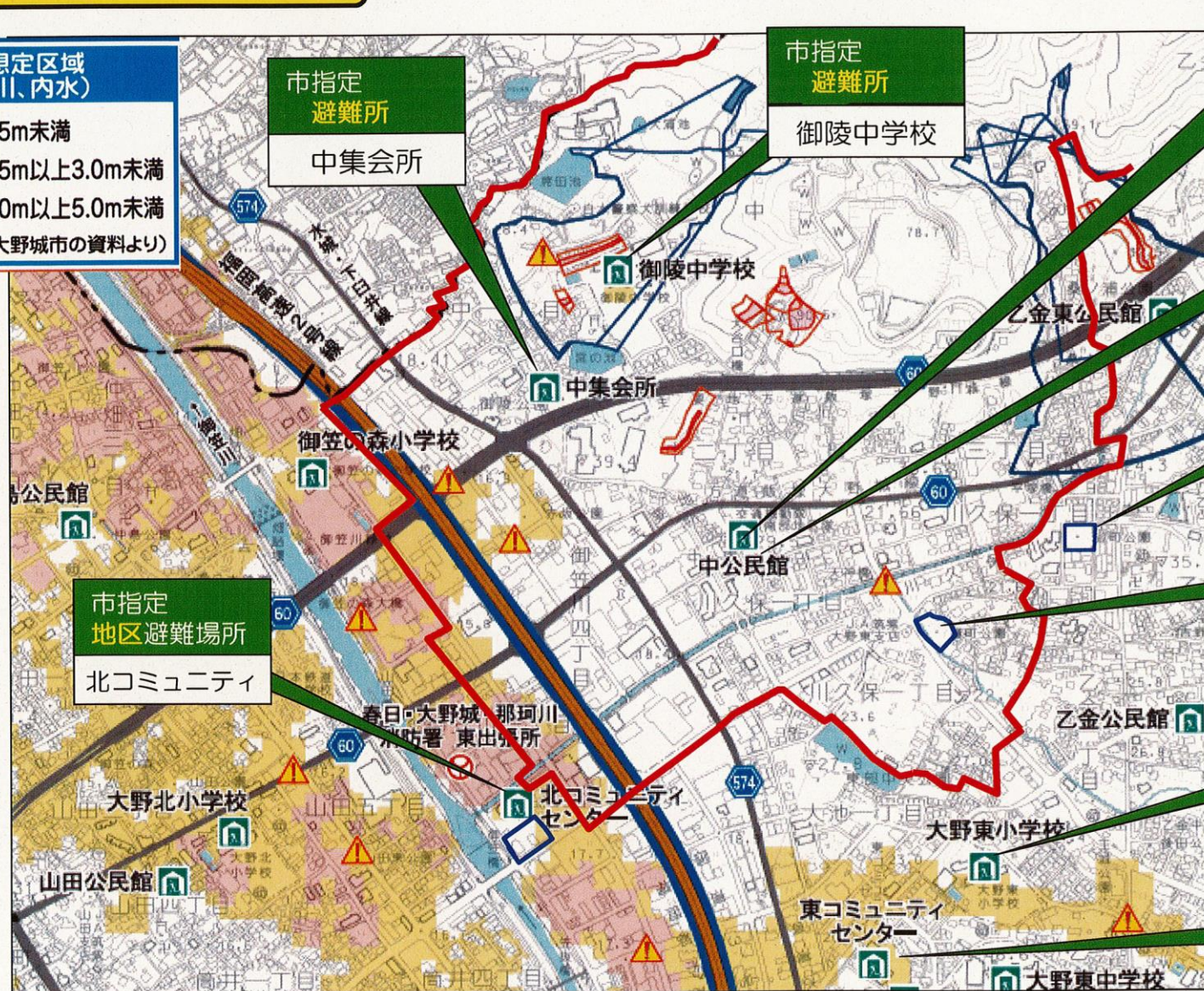
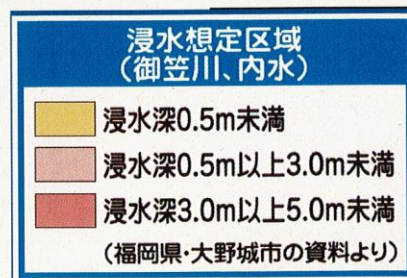
大野城市版 マイ・タイムライン（風水害時）			
マイ・タイムラインとは、大雨や台風等の水害など、これから起こるかもしれない災害に対して、周囲の状況を踏まえて、「誰が」「いつ」「何をするのか」を時系列でまとめた行動計画です。 事前に準備することで、いざという時に迷いなく行動することができます。家族で考えてみましょう。			
自宅の危険を、大判マップ(L2版)を見て書き込みましょう。			
洪水の想定浸水深		土砂災害の警戒区域等	
		ある・ない	
平時のそなえ	防災情報	行動の基準	個人の行動
	防災情報なし	例：1ヶ月に一度備えを確認	1. 物品 ☐食料、飲料水、燃料の準備 ☐非常持出品の準備 追加項目
警戒レベル1	早期注意情報	例：今後、大雨のおそれがあるとニュースで確認した場合	1. 安全対策 ☐家の周りの片付け ☐家族の予定を確認 2. 情報収集 ☐気象情報の確認 ☐非常持出品の確認 ☐常備薬の準備 追加項目
災害への心構えを高める			
警戒レベル2 (前日)	洪水注意報 大雨注意報 等	例：大野城市を対象に大雨注意報が発令されたとき	1. 安全対策 ☐家族と防災会議を実施 ☐避難経路、避難所の確認 2. 情報収集 ☐川の水位をインターネットで確認 3. 物品 ☐携帯電話の充電 追加項目
自らの避難行動を確認			
警戒レベル3 (半日～ 数時間前)	大雨警報(土砂災害) 洪水警報 等 高齢者等避難	例：高齢者等避難が発令されたとき	1. 安全対策 ☐避難所に避難を開始 ☐不要不急の外出を控える 2. 情報収集 ☐災害情報伝達システムからの情報を聞く 3. 物品 ☐断水に備え、浴槽や容器に水を溜める 追加項目
危険な場所から高齢者等は避難			
警戒レベル4 (1～2 時間前)	土砂災害警戒情報 等 避難指示	例：避難指示が発令されたとき	1. 安全対策 ☐避難完了 2. 情報収集 ☐家族が避難したか確認 追加項目
危険な場所から全員避難			
警戒レベル5	大雨特別警報 等 緊急安全確保	例：御笠川が氾濫/土砂災害が発生	1. 安全対策 ☐垂直避難 2. 情報収集 ☐家族、親戚に状況を連絡 追加項目
命の危険 直ちに安全確保			

中公民館周辺の危険個所を知ろう

大野城市ハザードマップ

計画規模 (L1版)

ハザードマップから知る



市指定
避難所

中集会所

市指定
避難所

御陵中学校

市指定避難所

中公民館

市指定
一時避難場所

中公園

市指定
一時避難場所

巡町公園

市指定
一時避難場所

蓮町公園

市指定
地区避難場所

北コミュニティ

市指定
地区避難場所

大野東小学校

市指定
地区避難場所

東コミュニティ

わが家の防災メモ

家族の連絡先・避難所などを書き込みましょう

緊急連絡先



●大野城市役所

(災害警戒本部・災害対策本部)・・・092-501-2211

●行政区の公民館

(中公民館)

・・・092-504-0258

避難場所

風水害時		地震発生時		土砂災害時	
------	--	-------	--	-------	--

家族等の連絡先

名前	電話番号	住所	備考

チェック! 非常持出品☑ 必要最小限にまとめ、すぐ取り出せるところに保管しておきましょう。

☐ヘルメット・防災ずきん

落下物から頭を守るための必需品

☐貴重品

預金通帳、健康保険証、免許証(番号を控えたメモかコピー)、現金

☐救急医薬品・常備薬

キズ薬、ばんそうこう、その他薬など

☐懐中電灯 ※予備の電池も必要
停電や夜間の移動に欠かせない。
できれば1人に1つ用意

☐リュックサックなど
非常品を入れて両手が各位補できる
リュックサックなど

☐水

持ち運びに便利なペットボトル入りを

☐非常食

缶入り乾パンなど、
火を通さずに食べられるもの

☐携帯ラジオ ※予備の電池も必要
小型で軽く、FMとAMの両方を
聴けるものがよい

☐生活用品

衣類、軍手、ナイフ、
ライター、缶切り、
簡易トイレ、タオル、
雨具など



チェック! 非常備蓄品☑ 最低でも3日間は生活できるだけの量を用意しておきましょう。

☐非常食

缶詰やレトルト食品など、そのまま
食べられるか、簡単な調理で食べられるもの



☐水

飲料水は
1人1日
3リットル
が目安



☐工具類

スコップや
ロープなど



☐生活用品

カセットコンロとガスボンベ、毛布、衣類、トイレ
レットペーパー、ドライ
シャンプー、ビニール袋
など



大野城市東地区コミュニティ運営協議会
事務局 092-504-1430